

はあもにい

機関紙はあもにい

第54号

発行日 年間2回(7月・1月)

編集 社会福祉法人

白老宏友会 法人本部

白老郡白老町川沿1丁目553番地1

TEL (0144) 85-3100

HP: <http://www.shiraoi-kouyuukai.jp/>

イレンカスタッフ
一同です。宜しくお
願い致しま〜す!!

令和2年7月12日(日)いよいよオープン!!

「Sweets cafe ななかまどイレンカ」は

皆様の来場をお待ちしております。



イレンカラブデ〜



民族共生象徴空間「ウボボーイ」

「令和2年度の春を迎えて」

春と言えば「出会いと別れ」。私達、北海道に住む者にとって毎年、事とは言え激寒の長い冬から桜の開花を待ち、新緑の山肌に移りゆく四季の中でも新たな思いを胸に、新たな一歩を踏み出す季節感こそ誰もが同じ胸中であろうと思われまふ。そんな思いの令和2年度のスタートが新型コロナウイルスにより国の緊急事態宣言下での過去にないスタートを切るとは想像を絶するところでありました。1月16日に初めて日本で感染発生が発表されてから6ヶ月が経とうとしている中、国内での感染者が1万9千人を超え、道内においても1千2百人を超えている状況にあります。法人においては2月15日に最初の感染対策委員会を開催し、行政指導通知を始め報道の実態に合わせ逐次、委員会の開催を実施し感染防止レベル5までの段階的な対策マニュアルを作成し、日常支援における活動や行事、外出、帰省等の自粛に利用者の皆様やご家族、職員、関係各位の皆様にご理解とご協力をいただいたことで感染したと思われる症例はなく経過していることは感謝を持ってお礼を申し上げるところであります。

令和元年度をもって法人設立35周年を経過した節目に共生の街作りの視点から、本年度4月に開設予定であった民族共生象徴空間「ウボボーイ」の歓迎の広場への出店は就労支援における利用者の働く場の拡充としてポプリが積極的にアプローチし出店のコンセプトを明確にしたことで、出店に繋げる事が出来たことは大きな成果と受け止めており、遅れていた開設も7月12日に決定し、当初の100万人とも言われた観光誘致には不透明な現状ではありますが、利用者の工賃収入への永続的な取り組みと考えております。一方で、職員の働き方改革関連法案が30年6月29日に成立し、法案が目指す概要から2年度施行の同一労働同一賃金への具体的な対応策について検討を重ね、職員の皆様には利用者の本人本位にたった支援の継続に理解を深めていただき、格差のない労使関係を構築し法案の進捗や判例、他法人等の連携を図り、働きやすい職場環境づくりを目指しております。現在、新型コロナウイルスの関連につきましては、国の緊急事態宣言の解除、国内の往来自粛解除、道内の往来解除を受け法人運営も自粛解除のステップを踏み、感染防止の手を緩めず新しい生活様式をもって、歴史を重ね目指し実践している法人理念の地域福祉に邁進したいと考えておりますので変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(理事長 茂木 静)

多機能型事業所 ポプリ

sweets cafe

Inana kamado イレンカ



イレンカ 7月12日 オープン決定！



新型コロナウイルスの流行により、延期されてきましたウボボイ（民族共生象徴空間）の開業が7月12日に決定し、本格的にその準備を進めています。この度新店舗として出店するイレンカに抜擢された利用者さん6名は、個々の担当作業の習得と目標を掲げ、開店に向け活気を持ち働んでいるところです。新型コロナウイルスによる感染防止対策には十分に努めながら、町内をはじめ町外のお客様に喜んでいただき、また来たいと思ってもらえるお店づくりを目指していきます。今後、感染症の問題が落ち着いた時には、国外からのお客様を含め多くの来店者がイレンカを訪れてくれることを期待する他、多文化共生、地域共生社会の実現に向け、法人をはじめポプリ全体が一丸となり、この事業の成功を目指していきます。

職業指導員 川口 雅司

明るい笑顔で接客を頑張ります！



松田 梨紗さん

商品の名前や価格を早く覚えて、丁寧な接客対応に心がけます！



谷内 寛季さん

アレルギーを使いこなせるように頑張ります



尾関 良美さん

お客さんがたくさん集まるような製品を作ります！



大友 純さん

クンネチュップとパピリカパイを焦がさず美味しく提供します！



田中 兼一さん

イレンカの商品を丁寧に製造できるように頑張ります！



地本 泰河さん

生活介護事業部 外出活動「水芭蕉見学」水芭蕉見学に行ってきました！



生活介護事業では、5月ポルト自然休養林に水芭蕉見学へ行きました。遊歩道を散策し、季節を感じながら水芭蕉と自然豊かな景色を觀賞し楽しむことが出来ました。コロナウイルスにより、外出などが自粛されている中、久々の外出活動に利用者の皆さん心躍らせ笑顔が溢れていました。

生活支援員 加藤 航平

よもぎ採取事業について

今年度は、ウボボイ（民族共生象徴空間）の開業また出店が決定し、菓子土産品『ノヤの鐘』よもぎパン糠頭の販売や、白老町をはじめ札幌でも大人気のよもぎあん餅のインターネット販売の依頼を楽天株式会社より受け、これまで以上の原料が必要となり、今年度は1tの採取を目標に取り組みました。5月18日から6月3日までの期間（12日間）採取を行い、結果930kgの原料を確保することができました。ご協力いただきましたご父兄の方々はじめ、ボランティア、みらいえ、愛泉園の皆様、心より感謝を申し上げます。採取いたしました原料は、就労事業の製品に大切に使用させていただきます。

支援課長 中道 康元



(3)

2020年 スタート！ みらいえファーム

生活介護事業所
みらいえ

みらいえファームの一年が今年も始まりました！

苺は、昨年度も大好評だった『けんたろう』のほかに、四季成りイチゴの『すずあかね』に今年初めて挑戦し、無事収穫・出荷することが出来ています。皆さまに愛されるファームになるよう、日々利用者・職員共に試行錯誤しながら、愛情たっぷり育てて行きたいと思います！もし、みらいえファームの苺や野菜を見かけたら、ぜひ食べてみて下さい。

また、裏の土地も新たに花壇や看板、タープなどを設置しました。裏のフットサル場では、天気の良い日に日向ぼっこをしながら休憩を取ったり、身体を動かしたり、ヨガをしたり、行事の開催場所として開放したり…と今後も様々な活用をしていきたいと思います。

みらいえ：田中 沙紀



利用者のみなさんが描いた
ラベルが完成しました！



わたしが
絵を描き
ました！

須貝 八洋さん



わたしが
字を書き
ました！

北山 大悟さん



わたしが
字をぬり
ました！

柴田 莉奈さん

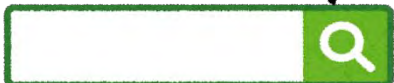


インスタ はじめました！

この度、施設での取り組みや、日ごろの活動の様子など、たくさんの方々に知ってもらいたいと、Instagramを開設しました。日々、情報など更新中です！ぜひご覧ください。

※ 閲覧して頂くためには、Instagramへの登録、および、『みらいえ』の承認が必要となりますので、予めご了承ください。

Instagramで検索



新任職員紹介 ～ どうぞ、よろしくお願いします！ ～



鈴木 亜希
(生活支援員)

初めてのことでばかりで、わからないこともたくさんありますが、みなさんが、『みらいえ』で楽しく過ごせるよう、頑張りますので、よろしくお願いします。

障がいのある方々とは接することは今まで、あまり経験はありませんが、寄り添った支援が行えるよう、いろいろ覚えていきたいと思っています。よろしくお願いします。



齊藤 幸代
(生活支援員)



行事:お花見

ひげダンスをしながら、謎のおじさんに扮装した職員がリンボーやフラフープの難題を！
はたしてみんなはうまくできたのか!?
お昼は野菜たっぷりのジンギスカン。



屋内行事.. お菓子作り

風船で型を取った
チョコの器に、好きなお
菓子を入れてオリジナ
ルパフェづくり。



今後の予定

7月	果物狩り
8月	アヒンピック
9月	収穫祭
10月	ハロウィン / ピザ作り
11月	うどん作り
12月	忘年会



とっても小さいけれど、苺がなりま
した。ウォーキングついでにパクリ。
今年は桃もなっています。
おなじみカシスも順調に育っていま
す。たくさん実が付きそうですよーに！

イチゴ 桃 カシス



ブランコ シーソー

外出できないなら、園内で楽しもう！カラマツの木を利用して
ブランコやシーソーを作りました。ターザンロープもあります。
晴れた日はのんびりゆらゆら♪

地域生活支援センター

あぷろ

昼食はさいとう養鱒場での
ニジマス料理に舌鼓！

あぷろ第1支援課

気分転換にお出掛け～！！



新型コロナウイルス対策の中、通常のサークル活動を自粛せざるを得ない状況が続きましたが、緊急事態宣言解除後の活動の段階的なステップアップの取組第1弾として釣堀体験を三密に考慮し希望者を三班に分けた内容で町内のさいとう養鱒場で楽しむことができました。釣った魚は刺身と唐揚げで美味しく頂き皆さん満足の1日だった様子です。

あぷろ第2・3支援課

～ゴールデンウィークは外出自粛の中工夫を凝らした楽しい日々でした～



ホーム内いちご狩り



テイクアウト食



誕生日会



ゴールデンウィークの帰省につきましては新型コロナウイルス対策の為、保護者の皆様にご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。連休の過ごし方はホーム内でのいちご狩りや町内・苫小牧方面のドライブでテイクアウトしたものをホームで頂くなど、利用者の皆さんは“新しいスタイル”の余暇を楽しんでいました。

令和2年度定時評議員会を終える

新型コロナウイルス感染防止のため、5月の理事会は決議の省略で実施しましたが、緊急事態宣言解除を受け定時評議員会は会場を3密状態にならないよう最大の配慮をし、委員皆様のご理解も頂き通常開催で実施する事ができ、議案内容の承認を得ることができました。

報告第1号：内部監査報告

報告第2号：令和2年度法人事業計画

報告第3号：令和2年度予算並びに第1次補正予算

議案第1号：令和1年度法人事業報告

議案第2号：令和1年度法人決算報告

*令和元年度白老宏友会事業報告・決算報告は法人HPに掲載しております

(常務理事 北平 保)

新型コロナウイルス対策近況報告

白老町に隣接する苫小牧市や登別市においては感染者の発生が見られましたが、幸い白老町では感染者はおりませんでした。宏友会事業所では、「マスク着用」「手の消毒」の他、利用者、保護者の方にご協力をいただき、一時帰省や面会の自粛協力により、感染防止体制を強化してきました。ご不便をおかけしましたが、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

<今後の感染予防とお願い>

- ① 往来の自粛解除等により、密集や交流による感染のリスクが増大します。人混みやリスクのある場所を避け、感染予防をお願いします。
- ② 施設内ではマスクの着用や手の消毒を行い、「うつらない・うつさない」の対応を心がけましょう。
- ③ 体調の変化に気を付けて、早めの受診や自宅静養をお願いします。

(常務理事 北平 保)



～ご厚志(ご寄付)～ありがとうございました

「愛泉園」

* 笹森 照雄 様

* 滝吉 公雄 様



地域貢献事業（共生型事業所はあもにい）

「ご近所野菜市」のお知らせ

家庭菜園で育てた新鮮な野菜や花を持ち寄り、野菜市を行います。出店希望者は1回100円で事前申し込みが必要です。尚、天候不順により臨時休業する場合があります。今年は「駅北会場」と「川沿会場」にて行います。

なお、「ほっこり食堂」「子供食堂」「寺子屋事業」他は、新型コロナウイルス感染の自粛状況に併せ実施の検討をしております。

<駅北会場>

日時：令和2年8月1日から（毎週土曜日）

13時～14時30分

*8月15日を除く・最終は9月26日（土）

場所：白老駅北観光インフォメーションセンター

<川沿会場>

日時：令和2年8月4日から（毎週火曜日）

13時～14時

*9月22日を除く・最終は9月29日（火）

場所：川沿1丁目553番地（はあもにい前）

<主催者> 社会福祉法人 白老宏友会

<申し込み> 担当者 田野島 電話 0144-85-3100



白老駅北観光インフォメーションセンター（上）
と昨年の野菜市の様子（下）

編集後記…

年明けから「新型コロナウイルス」のニュースが絶えず、緊張の毎日が続いています。行事やイベント等は自粛による延期または中止となり、必需品の品不足は想定外なところまで影響を受けました。その状況を踏まえ「利用者用のマスクの確保につながれば」と、理事長自ら職員全員分のマスクを170枚近く作製、配布されたことは、気遣いと団結心を感じながら仕事に励み、毎日を過ごすことが出来ました。

今、本当に願うことは、以前のようにマスクや仕切りの無い「バリアフリー」な日々を取り戻せるよう祈りたいです。そして今回の機関紙「はあもにい」で少しでも明るい話題を見つけて温かい気持ちになることが出来たらうれしいなあと思っております。

(法人本部事務 中辻千恵)



新任職員紹介（R2.1月以降採用）

「ポプリ」

* 一戸百合子（作業支援員）R2.3.1

* 加藤 弘子（作業支援員）R2.3.10

* 佐藤亜貴子（作業支援員）R2.4.1

* 中村麻里子（作業支援員）R2.4.1

「あぶろ」

* 黒田 一史（生活支援員）R2.4.1

* 西村 和晃（支援員兼世話人）R2.4.1

「みらいえ」

* 鈴木 亜希（生活支援員）R2.5.1

* 齋藤 幸代（生活支援員）R2.6.15

「愛泉園」

* 西田 重男（支援員）R2.5.1